

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

平成 19 年 41 週(10 月 2 週 10/8 ~ 10/14)

平成 19 年 9 月分月報

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス
インフルエンザ

全数把握感染症発生状況

定点医療機関コメント

溶連菌感染症が増加傾向、病原性大腸菌等の検出に関するコメント多数

平成 19 年 9 月分月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

トピックス

インフルエンザ

2007 / 2008 シーズンのインフルエンザワクチンの接種が本格的に始まりましたので、早めにインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。

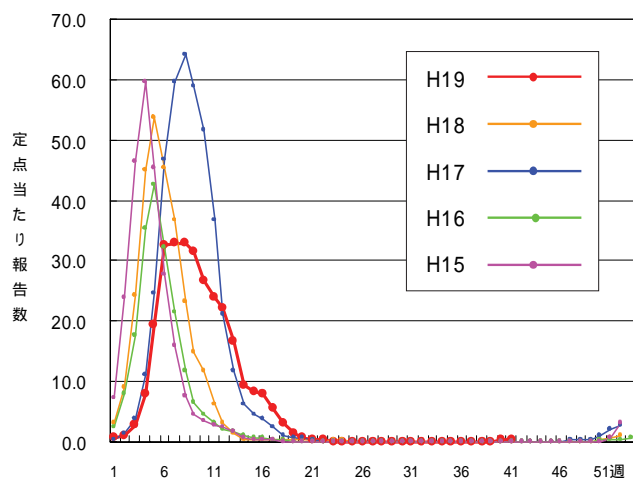
今シーズンのワクチン株は、6 月 11 日に厚生労働省から以下のように通知されています。

A ソ連型については 2006/2007 シーズンの株から変更されています。

	A ソ連型	A 香港型	B 型
2007 / 2008 シーズン	A / ソロモン島 / 3 / 2006(H1N1)	A / 広島 / 52 / 2005(H3N2)	B / マレーシア / 2506 / 2004 (ビクトリア系統)
(参考) 2006 / 2007 シーズン	A / ニューカレドニア / 20 / 99(H1N1)	A / 広島 / 52 / 2005(H3N2)	B / マレーシア / 2506 / 2004 (ビクトリア系統)

昨シーズンの当所におけるインフルエンザウイルスの検出状況については、当所のウェブサイト*に掲載されています。

愛知県感染症発生動向調査におけるインフルエンザ患者報告数は右図のとおりです。



* 愛知県衛生研究所ウェブサイト

「インフルエンザウイルス分離状況; 2006/2007 シーズンのインフルエンザの流行について」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infburri06_07.html

病原体検出情報

10月15日現在

平成19年疾患別ウイルス検出情報（速報）
 <平成19年4月以降に発症した患者の検査結果です。>

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	インフルエンザ
患者数	140	48	92	15	3	59	4	44
PV-1	1	-	-	-	-	-	-	-
PV-2	1	1	-	-	-	-	-	-
CV-A5	-	-	13	-	-	-	-	-
CV-A6	-	3	51	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A16	-	28	1	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-
CV-B1	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-B4	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-B5	2	2	3	-	-	25	-	-
E-6	1	-	-	-	-	1	-	-
E-30	1	-	-	-	-	2	-	-
FluAH1	-	-	-	-	-	-	-	4
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	10
FluB	-	-	-	-	-	-	-	1
MuV	-	-	-	-	-	1	-	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	3
Rota A	1	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G1	5	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G2	1	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G3	2	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G9	5	-	-	-	-	-	-	-
NV G	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	1	1	-	-	-	-
Ad-2	4	-	-	3	-	-	-	-
Ad-3	3	-	1	2	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-
Ad-31	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-37	-	-	-	-	1	-	-	-
Ad-41	4	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	-	-	-	-	1	-
検査中	21	2	-	4	2	6	-	-
陰性	86	11	22	5	-	24	2	26

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス	FluAH1 : Aソ連型インフルエンザウイルス	HSV-1 : 単純ヘルペスウイルス1型
CV : コクサッキーウイルス(Cox.)	FluAH3 : A香港型インフルエンザウイルス	NV G : ノロウイルスG型
EV-71 : エンテロウイルス71型	FluB : B型インフルエンザウイルス	MuV : ムンプスウイルス
E : エコーウイルス	HMPV : ヒトメタニューモウイルス	PV : ポリオウイルス
		Rota A : A群ロタウイルス

平成18年度疾患別ウイルス検出情報（確定数）は以下のリンクをご覧ください。
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/microbiol5.html>

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

今週は、上気道炎が大半であった。 【一宮市 後藤小児科】	溶連菌感染症が増えてきました。 【岩倉市 なかよしこどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 31歳女性 【稲沢市 野村整形外科】	鼻水を伴う喉頭炎様のかぜがはやっています。 大人でも高熱がでることがあります。 【犬山市 武内医院】
溶連菌感染症、気管支喘息が少し目立ちますが、他に大きな感染症の流行はありません。 【江南市 みやぐちこどもクリニック】	78歳女 マイコプラズマ感染症 【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症が多くみられます。 【瀬戸市 津田こどもクリニック】	ムンプス患者さんを診るようになりました。 【春日井市 春日井市民病院】
喘息が目立ちましたが、感染症は目立ったものはありませんでした。 【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】	下痢、嘔吐症やや増加 【春日井市 朝宮こどもクリニック】
5歳男 10歳男 サルモネラO6 【尾張旭市 旭労災病院】	病原大腸菌による胃腸炎が目立ちます。 【小牧市 志水こどもクリニック】
5歳男カンピロバクター腸炎 【美浜町 厚生連知多厚生病院】	無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 10 - 14歳 3名 9歳 1名 1歳 1名 【東海市 東海市民病院】

西三河地区

7歳男 <i>E.coli</i> (O74) 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】	1歳男 病原大腸菌O74 2歳男 カンピロバクター 5歳女 病原大腸菌O124 カンピロバクター 【岡崎市 川島小児科水野医院】
3歳男 異型肺炎 【岡崎市 深田小児科】	
7歳女 病原大腸菌O15(+) サルモネラO7群 6歳男 サルモネラO9群 【岡崎市 花田こどもクリニック】	マイコ気管支炎 5歳。 【刈谷市 田和小児科医院】
あたまじらみ 9歳女、5歳女 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】	サルモネラ腸炎O7 40歳女 【西尾市 山岸クリニック】
3歳女 マイコプラズマ感染 7歳女、4歳男 アデノ(+) 【岡崎市 にいのみ小児科】	アデノウイルス感染症 4歳男 カンピロバクター8歳男 【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

ヘルペス口内炎 2歳男 【豊橋市 野村小児科】	手足口病：某保育園で流行 【蒲郡市 蒲郡市民病院】
インフルエンザB 2名：田原市2歳、豊橋市3歳 【豊橋市 羽柴クリニック】	(STD 定点9月分) 発生なし 【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）10月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun070615.pdf>)

結核（二類感染症）

報告保健所	41週報告数		累計（2007年14週～41週）	
		（喀痰塗抹検査陽性者数再掲）		（喀痰塗抹検査陽性者数再掲）
名古屋市 （16保健所合計）	17	5	411	157
豊田市	1	1	51	18
豊橋市			37	21
岡崎市			28	16
一宮	3	2	62	30
瀬戸	3		63	21
半田			39	16
春日井	1		67	18
豊川	1	1	32	29
津島			43	25
西尾	1	1	19	15
江南			35	29
新城	1		5	2
知多			35	16
師勝			25	10
衣浦東部			43	16
合計	28	10	995	439

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	岡崎市	7	男	10/5	10/5	10/10	O103、O74、VT1(+)
2	岡崎市	25	女	-/-	10/4	10/10	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
3	半田	70	女	10/2	10/3	10/9	O157、VT2(+)
4	半田	73	男	-/-	10/10	10/13	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者
5	春日井	38	男	10/5	10/8	10/11	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者
6	西尾	52	女	10/1	10/2	10/5	O157、VT（型不明）
7	知多	24	女	-/-	10/9	10/9	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者
8	知多	32	女	-/-	10/7	10/11	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

E型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	48	女	経口感染	国内

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域
1	衣浦東部	35	男	蚊に刺されて感染	ベトナム

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	60	男	肺炎型	水系感染	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	29	男	不明	国内
2	豊田市	58	男	不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	68	男	A I D S	不明	国外(感染地域不明)
2	豊橋市	27	男	A I D S	不明	国外(インドネシア)

平成19年9月分月報 (平成19年10月15日現在)

9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 (診断日に基づく集計です)

平成18、19年に発生があった 疾病名および病型 ()内は全数把握対象疾病数		平成19年9月			平成19年 累計 <愛知県全体>	平成18年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (4)	結核	74	58	132	929	-	
三類 (5)	コレラ	0	0	0	0	4	
	内訳	患者	0	0	0	0	2
		疑似症患者	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢		2	0	2	25	31
	腸管出血性大腸菌感染症		42	8	50 *	126	211
	内訳	患者	34	6	40	103	140
		無症状病原体保有者	8	2	10	23	71
	腸チフス		0	0	0	2	6
	内訳	患者	0	0	0	2	6
		無症状病原体保有者	0	0	0	0	0
パラチフス		0	0	0	0	3	
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	7	6	
	A型肝炎	0	1	1	6	19	
	オウム病	0	0	0	1		
	つつが虫病	0	0	0	1	5	
	デング熱	0	1	1	4	5	
	マラリア	0	0	0	0	2	
	ライム病	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	2	1	3	26	45	
五類 (14)	アメーバ赤痢	1	1	2	35	50	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	6	9	
	内訳	B型	0	0	0	5	6
		C型	0	0	0	1	3
	急性脳炎		0	0	0	2	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	5	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	1	1	5	9
	後天性免疫不全症候群		0	8	8	103	112
	内訳	無症候	0	6	6	69	74
		AIDS	0	2	2	28	31
		その他	0	0	0	6	7
	ジアルジア症		0	0	0	1	2
	髄膜炎菌性髄膜炎		0	0	0	1	1
	梅毒		5	3	8	50	50
内訳	無症候	1	2	3	11	14	
	早期顕症	4	1	5	35	35	
	晚期顕症	0	0	0	1	0	
	先天梅毒	0	0	0	3	1	
破傷風		0	0	0	0	5	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	2	0	
総計		126	82	208	1337	597	

* ; 0157 47件、0128 1件、0血清型不明 2件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	平成19年9月			平成19年 累計	平成18年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	77	68	145	1228	1597
	性器ヘルペスウイルス感染症	17	27	44	403	428
	尖圭コンジローマ	23	19	42	354	440
	淋菌感染症	31	42	73	598	983
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	9	78	708	937
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	2	4	53	43
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	3

感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 (7 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (4 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5 疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41 疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (41 疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症 (1 疾病)	既知の感染症（一～三類感染症を除く）のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。インフルエンザ（H5N1）が平成18年6月2日に指定され、さらにその期間が1年間延長（平成20年6月11日まで）された。

